

中学校スクールカウンセラー だより 3

新型コロナウイルスで考える事

昨年から、新型コロナウイルスとの関わりでは、様々なことを考えさせられました

中学生の想像力と行動力はすごい。

今でこそ、マスクは増えてきましたが、コロナウィルスでマスク不足が話題になったときに、すぐに行動に出たのが、山梨県の女子中学生でした。自分のお年玉を使って材料を買いマスクを作り、いろいろな施設に配布したという話題がニュースに出ました。その後、小学生もマスクを作って近所のお年寄りのところに配布しているというようなことも話題になったと思います。昨年は多くの人がマスクを手作りし、また困っているところにプレゼントするという行動がありました

中学生の想像力と行動力が、社会を動かしたとも考えられますね。



医療現場のメッセージから

医療現場では、防護服が足りないということを聞き、ある市長さんが「医療を助けて欲しい。防護服がないからカッパでも良いので、送って欲しい」と発信しました。すると次の日に SNS で世界中に拡散し、何万のカッパが届き、医療従事者が守られたというエピソードがありました。

そこで考えるのは、助けが欲しいときには遠慮せずに「助けて欲しい」と言うことです。今「助けて (HELP)」は医療だけでなく、アルバイトができなくなり食べるものにも困った大学生も発信し、その声が大きくなり全国から様々な支援が届いていました。



私達は人を助けるということは「思いやり」や「優しさ」として意識しています。しかし、困ったときにどうしたら良いのかをあまり学んではいません。日本は「人に迷惑をかけないこと」が重視されます。それはとても大切なことです。しかし、迷惑をかけないために我慢しすぎる傾向もあります。

困ったときには「困っている」と言うことも大切だと思います。

人は誰かを助けたり、誰かに助けられたりしながら生きているのですよね。



Help!! (助けて!!)

Help という名曲があります。これは皆さんのおじいさんやおばあさんあたりの年代の人は良く聴いていた洋楽です。ビートルズの名曲で1965年に、ジョン・レノンという人が作った曲です。

勢いのあるアップテンポなロックナンバーですが、HELP!! を求めています。ビートルズがすごいスピードで世界中のスーパースターになったものの、それになじめずに身も心もパニック状態になったときにジョン・レノンが曲にしたものが、この『Help』だと言われています。



